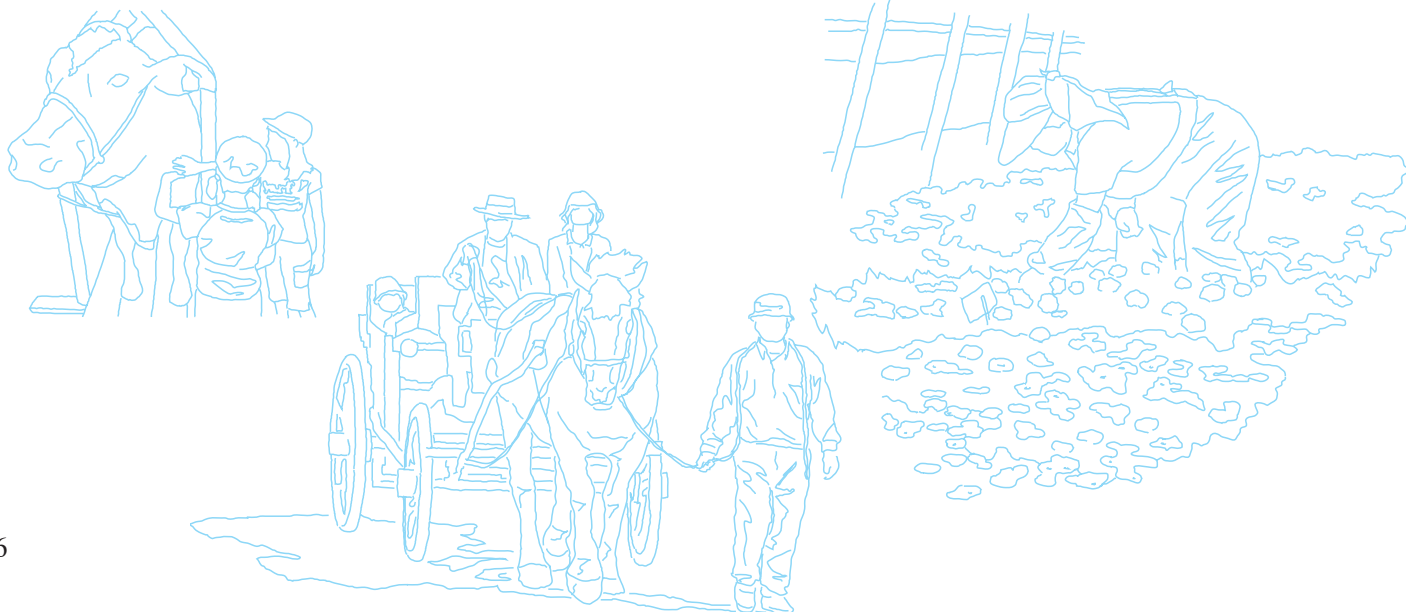


将来の  
まちの姿

## 地域資源を生かした 個性と活気あるまち

水、緑、花という地域資源、恵庭らしい地域の個性として存在することが市民の共通認識となっています。さらに、地域には、人、文化、産業、地域活動など資源として地域づくりに活用できる素材が多くあります。

こうした地域資源を発掘し活用しながら、水と緑豊かな自然環境と花に彩られた美しい都市空間のもとで、人々の交流が活発に行われ、地域資源を生かした新たな事業や観光の創出がまちに活気を呼び、暮らしの豊かさを市民が実感できる個性あるまちをめざします。



## 将来の まちの姿

# 協働による地域づくりを 進める交流のあるまち

地方分権の時代を迎え、市民も行政も、地域のことは自らが考え、市民・事業者・行政が地域のパートナー<sup>\*1</sup>として、それぞれの役割を認識し連携しながら、協働による自主・自立の地域づくりに取り組むことが、住み良いまちとしての満足度を高めていきます。

市民と行政とがお互いの役割を理解し、お互いの信頼感をより強固なものとするため、施策の立案から事業実施段階まで、情報と活動の共有を図りながら、市民・地域活動団体などの多様な主体が地域づくりに加わり、行政と協働して地域づくりに取り組む交流のあるまちをめざします。

※1…パートナー…仲間、相手

